

赤尾光春(あかお・みつはる)特任助教:2008年3月1日着任

1. 論文・著書

『ユダヤ人と国民国家—「政教分離」を再考する』(共著)市川裕、臼杵陽、大塚和夫、
手島勲矢共編著(岩波書店、2008年9月)

『ディアスポラのカーユダヤ文化の今日性をめぐる試論』(共訳)ジョナサン・ボヤーリン、
ダニエル・ボヤーリン、赤尾光春・早尾貴紀訳(平凡社、2008年6月)

2. 学会・シンポジウム発表

「旧ソ連系移民の流入とイスラエル社会の再編:「帰還法」をめぐる議論を中心として」
国際シンポジウム「移動とアイデンティティ:コンフリクトと新たな地平」
(大阪大学・サンパウロ大学共催、2008年8月)(査読有)

「ワシーリー・グロスマンとデル・ニステル—ソ連『ホロコースト文学』の起源」
日本ロシア文学会第58回定例総会(中京大学、2008年10月)

「『捕囚の中の捕囚』としてのロシア—ハバド・ルバーヴィチ・ハシディズムとユダヤ教信仰の
存続をかけた地神学」日本ユダヤ学会第5回学術大会(早稲田大学、2008年10月)

3. GCOE内の研究プロジェクト活動

「シオニズムの考古学:現代ユダヤ社会におけるディアスポラとイスラエルの相克」
研究プロジェクト代表者、計3回の公開ワークショップ開催

特別講演の開催 “In the Name of Torah: A Century of Jewish Opposition to Zionism”
ヤコブ・ラブキン講師(モントリオール大学教授)講演、(大阪大学、2008年12月)

公開シンポジウムの開催 「ポスト・シオニズムかネオ・シオニズムか?—ユダヤ「民主」国家
イスラエルの虚像と実像」(2009年3月)

4. 2009年度に発表が決定済みの研究業績

『ディアスポラから世界を読む』(共編著)臼杵陽監修、赤尾光春・早尾貴紀編著
(明石書店、2009年)

5. 研究資金取得状況

科学研究費補助金(若手研究B)「ユダヤ教超正統派における反シオニズム・イデオロギーの
形成と変容」(研究代表者、平成20年度～22年度)

科学研究費補助金(基盤研究B)「ユーラシア・ユダヤ現代史の構築」
(研究分担者、平成21年度～23年度、研究代表者:高尾千津子)

科学研究費補助金(基盤研究B)「イディッシュ語文化圏における芸術活動の研究」
(研究分担者、平成21年度～25年度、研究代表者:園府寺司)